

令和2年度 秩父市立吉田小学校学校経営計画

I 教育理念

「見せてやれ！ 吉田の子の力を」

1 学校教育目標

「心豊かなたくましい子」

なかよく かしこく たくましく

2 めざす児童像

「自己肯定感を持ち、何事もがんばれる子」

- ・自分や他の人を大切にしようとする子
- ・進んで学び、自分の考えを表現できる子
- ・健やかに自ら体をきたえる子



3 めざす学校像

「一人一人が輝き、誇りや自信を持てる学校」

- ・児童が誇りと自信を持ち、生き生きと活動する学校
- ・保護者に信頼され、地域の誇りとされる学校
- ・温かい雰囲気の中で、児童が安心して学べる安全な学校

4 めざす教師像

「チームとして協働し、誇りを持って取り組む教職員」

- ・児童一人一人を大切にし、わかる授業を行う教師
- ・児童、学校、地域を愛し、自分に誇りを持つようとする教師
- ・仲間を大切に、チームワークを大切にする教師

II 学校経営方針

1 児童、保護者、地域、関係機関との信頼に基づく学校づくりを推進する。
(信頼と連携)

- ・市教委と連携した学校づくりの推進（秩父市学校創造グランドデザイン）
- ・地域と共に歩む学校づくりの推進（地域人材や地域の環境の活用、コミュニティスクールの実施に伴う学校運営協議会の活用）
- ・安心・安全な学校づくりの推進（安全対策での地域との連携、見守りボラ

- ンティアとの連携)
- ・幼稚園、保育所、中学校との連携した学校づくりの推進（小1プロブレム、中1ギャップの解消）
- 2 児童に学ぶ楽しさやわかる喜びを実感させ、生きる力を育む教育を推進する。（生きる力の育成）
- ・確かな学力の育成
 - ・自立する力の育成
 - ・思いやりと協調性のある豊かな心の育成
 - ・健やかでたくましい体力の育成
- 3 豊かな心を育てる学習環境の整備と充実を図る。
- ・「不言感化の教育」の推進（挨拶、言葉遣い、礼儀、感謝、自立心等の育成）
 - ・心豊かな児童の育成と好ましい人間関係づくりをめざす生徒指導の推進
 - ・豊かな自己形成を図る道徳教育の推進。
 - ・保護者と教師による朝のあいさつ運動の推進。
- 4 地域の環境、実態を生かした教育を推進する。（吉田ならではの教育）
- ・博学連携の取組を継続する（地域素材を生かしながら、児童の発表力や表現力などの能力を育む）
 - ・特色を生かした教育課程の編成、実施、評価、改善。
 - ・総合的な学習の時間「りゅうごんタイム」の推進。（ミニ龍勢、ホテルの学習など）
 - ・地域の要望、期待に応える学校経営（学校運営協議会、保護者の声、学校評価の分析、活用）
- 5 全教職員の知恵と教育力を結集し、責任ある教育を推進する。
- ・学校経営計画に基づく学年・学級経営、諸計画の推進（学年目標・学級目標の設定と評価）
 - ・学力向上全体計画に基づく学習指導の展開と検証・改善のサイクルの確立（校内研修の充実）
 - ・教育活動や行事を振り返り、全教職員による学校づくりの推進（反省点を次に生かし、学校行事の見直しなど負担軽減）
 - ・学習指導要領の全面实施

Ⅲ 学校教育目標の具現化

1 なかよく（生徒指導および学級経営の充実）

（1）学年・学級経営の充実

児童一人一人の個性や特長を的確に捉え、一人一人のよさや可能性を伸ばす教育の推進。

①児童一人一人への声かけの励行

②一人一人に活動の場がある実践

(2) 生徒指導の充実(あたりまえのことができるように)

校内生徒指導体制の確立と積極的な生徒指導の推進、家庭・地域・関係機関との連携と協力

①不登校、いじめ、虐待の早期発見と適切な支援と防止のための取組

不登校解消率 100% いじめ解消率 100% 虐待解消率 100%

②基本的な生活習慣の確立

「吉田小のあたりまえ」あいさつ名人 50人 そうじ名人 50人

(3) 豊かな心と人権を尊重する教育の推進

①道徳的実践力を育てる道徳教育の充実

(時数の確保と指導方法の工夫改善、彩の国道徳の活用)

②特別活動や勤労・体験活動を生かした教育活動の推進(異学年交流や環境教育の推進)

③心に響く歌声のある教育活動の実施

④勤労生産活動の推進(芝生の育成、花壇の充実、花いっぱいの実現、学校農園の活用、清掃活動の充実)

⑤人権意識の高揚と人権感覚を育成する人権教育の推進(人権感覚育成プログラムの活用)

⑥ふるさと・環境教育の推進(秩父大好き、吉田大好き人間の育成)

⑦特別支援教育の充実(体制整備、個別の支援の充実、特別支援学級の弾力的な運用)

⑧家庭と連携した基本的な生活習慣の育成

(吉田小よい子のきまり、吉田小4つの実践、3減運動)

80%以上(自己評価)

2 かしこく(確かな学力の定着)

(1) 学習規律の徹底(話の聴き方の徹底、学習姿勢、発言・応答など)

「吉田小のあたりまえ」

(2) 児童の学習意欲を高め、創意工夫した授業の実施

・学習単元テスト 低学年90点以上 高学年85点以上

・全国学調、県学調結果の検証 県平均を上回る

- ①ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境の整備と授業の実践
- ②表現力を重視し、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業の実践
- ③基礎・基本の徹底を重視した授業の実践、反復学習の徹底
- ④個に応じた指導の徹底
- ⑤児童一人一人の達成状況の把握を基にした効果的な指導の工夫
 - (3) 体験学習の充実（学校応援団との連携）
 - (4) 外国語科、外国語活動の推進（ALTとの連携、指導力の向上）
 - (5) 読書活動の充実
- ①読み聞かせ、個人読書の推進
- ②年間読書目標の設定による読書量の増加
 - (6) 地域環境の教材化と地域人材の活用（ジオパークの活用、伝統芸能継承活動の取組、地域の民話、書き初め指導、ミシン学習など）
 - (7) 校内研修の充実
 - (8) 家庭と連携した望ましい学習習慣の確立
- ①家庭学習の手引きの見直し・配布（4月）
- ②毎日の家庭学習（学年×10分間以上）の習慣化
 - 低学年 95% 高学年 90%
 - 家庭学習に意欲的に取り組む工夫、家庭学習ノートの充実
- ③各種コンクールなどへの応募

3 たくましく（体力向上と健康・安全の意識の徹底）

- (1) 体力向上の推進
 - 体力テストの結果で県平均を上待っている項目数の割合 50%
- ①学習規律を基に、力いっぱい運動し思いっきり汗をかく体育授業の実践
- ②体育的活動を通じた体力の向上
 - (2) 児童の事故0をめざす安全指導の徹底（地域と連携した見守り活動の推進、スクールガードの活用、交通事故0、水難事故0）
 - (3) アレルギーへの対応の徹底
 - (4) 家庭と連携した健康教育、食育の推進（早寝・早起き・朝ご飯）
 - 基本的な生活習慣の定着、ノーテレビ・ノーゲームデーの実施 80%
 - う歯治療率 90% 児童の朝食摂取率 100%